

ち～ず

いつも笑顔で仲よく生活しています。
お一人おひとりの自立をお手伝いしています。
平成30年5.6月号

No. 47

『 あじさい見物 』

毎日、雨が続く中、昼から天気がよくなったのでお年寄りとおじさいの話しながら栗井神社に行きました。

雨上がりの山肌一面に咲いているあじさいは、しっとりと濡れてとてもきれいでした。他県ナンバーの車も多く沢山の人が賑わっており花と一緒に写真を撮る人やそっと手で触れている人も。

又、種々の花色を数えている人など様々です。

ち～ずのお年寄りも「わあ、きれい」と色とりどりのあじさいを見て大きな声で喜ばれていました。



『 お買い物 』

近くのスーパーにおやつや調味料を買いに行きました。

買い物リストを片手に三人で「こっちの方が美味しそうやな。これも買ってエエやろか？お金あるえ？」等話をしながら真剣に選んでいました。

又、欲しい商品が探せない時は、店員の方に「〇〇どこにありますか？」と自ら聞いていました。買い忘れもなく無事買い物終了。



編集後記

梅雨に入り不順な天候が続いています。いきなり30度と云う高温のむし暑さが際立っているようです。

チーズでもお年寄りの体調管理には十分気配りして行きます。

御家族の皆さまにも御愛下下さいませ。

広報担当者 美藤・松木・田中け・葛原

『 玉ねぎの収穫 』

寒い時期に苗を植え天気の良い日に「今日は何を手伝わしてくれるんえ？」「玉ねぎの収穫をお願い出来ますか？」「分かった」とみんな集まり大きく育った玉ねぎを引きました。そして紐で縛って風通しの良い所に吊って下さいました。

「大きいのが穫れたで」「美味しいおかずお願いします」と玉ねぎを差し上げて大喜び。「皆でお手伝いするのもええもんやあ」とうれしそうでした。この後のお茶が特別美味しかったようです。



『 ある雨の日 』

「よう降るなあ。」「なんかせんな。」朝からの雨で外に出れず少々時間を持て余していたお年寄りの一言で習字クラブをする事に皆それぞれ「初夏」で連想できる文字を考えて『田植え』『あじさい』『あまがえる』の三種を選んで下さり、堂々と半紙に書く事が出来ました。

